

# Pet Pass for the Future

～目指せ《BtoB》100%～



PETって  
資源なの!?



当たり前!!



私達の理想は、PETリサイクル

「BtoB(ボトルtoボトル)」100%が当たり前で、新たな  
ペットボトル生産に必要な以上に環境資源消費がされない世界

# BtoBに関する現状

◎91.5%が回収



○84.6%がリサイクルへ



✕うちBtoBは22.7%

★BtoBを100%にすることで、1つのサステイナブルな循環モデルを成立させることができる

🏠単なるリサイクルだけでは、環境負荷軽減に繋がらない。多くの人々に「ペットボトルは資源である」との認識がない。脱ペットボトル（マイボトル等）の道もあるが、ペットボトルの便利さによる普及の状況、産業、衛生の面からすぐには難しい。テーパーバッグの不織布等も多くは環境負荷を下げている。

回収率が高いが、35%は海外に買い取られている。それも含めて、日本ではリサイクルへと回るものが86.4%（欧州で41.8%、米国で20.3%）と高い割合。

繊維、シート、ケース等の成形品となる割合が高い。その場合1サイクルでゴミとなり、別途新たなゴミ問題も出てしまう。さらに、新しいペットボトルを作るのに、石油を原料にPET樹脂を作ることとなる。

# 関連企業とのセッション

株式会社伊藤園、及び東洋製罐株式会社の方々と、問題の所在と解決に向けてすべきことについて話し合いを重ねました。

〈抽出した課題とすべきこと〉

- 現状、技術面については進んでいる。達成に向けたボトルネックは最終的に「**個人の意識と行動の変容**」に帰着。ここが最も困難な課題。急激な日本全体の変革は困難。**段階的に進める策**が必要。
- 様々な考えや価値観を持つ人の集団である学校を一つの小社会と捉え変革に挑戦する。**若い世代の意識を変え**、仕組みを作ることで「当たり前」の**中長期的社会変革**を図る。
- 本校で**BtoB 100%サイクルを構築**し、それを一つのモデルとして関連校、近隣校と広げ、**学校発信**で企業や世の中に働きかけていくことで、**ムーブメントを作り**世の中を変えていけるのではないか。



# 「PET PASS WEEK」伊藤園とのコラボイベントの実施

株式会社伊藤園と本校美化委員 & 有志で、校内BtoB推進イベントを企画・実施しました。

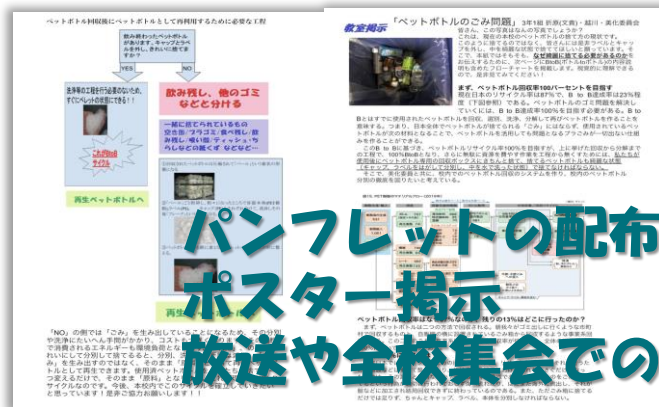
## 〈行動変容に向けた段階と要素〉

- 意義 & 重要性の周知
- 体験と実感 + 遊び & 楽しさ
- 行動変容を促進する環境
- 達成感とやりがい
- 意義の認識と自主的な行動

「当たり前」のレベルUP!

伊藤園開発のBtoB過程体験機の設置  
& 透明回収BOXの設置

見える化・多くの人が通る所・水道が近い



パンフレットの配布  
ポスター掲示

放送や全校集会でのPR

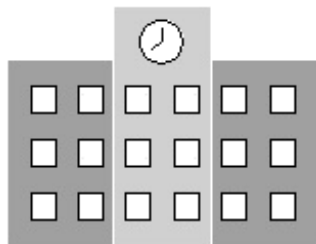


回収PET

→BtoB100%達成!!

# 今後の方向性

現在、学校単位で取り組める汎用性のあるシステムモデルの構築を進めている。



連携した自治的なシステム構築途中

生徒会

美化委員会

事務室(協力)

業者(選定中)

今後社会に出る若者世代

筑波大学附属高等学校

筑波大学附属学校群

近隣の小中高

様々な学校

社会全体

企業・自治体

様々な団体

各家庭

個人